

つうしん SPS通信



だいごうれいわねんがつにちはっこう
第21号 令和6年3月22日 発行

おおさかふりつちゅうおうちょうかくしえんがっこう
大阪府立中央聴覚支援学校

きょうでがっきお
今日で、3学期が終わります。今年度は、本校で初の引き渡し訓練を行うことができました。また、今年度もPTAにご

きょうりよく
協力いただき、災害時に備えて保存水を購入することができました。

ねんがんとん
2024年元旦には能登半島地震が発生しました。新しい年の始まりの日にあのような大きな災害が起き、心を痛めた

かたがた
方々も多くおられたことと思います。被災された方々へ、心からお見舞い申し上げます。私は、今回の報道を見て、自宅の

ぼうさいたいさく
防災対策を改めて見直しました。自宅内の避難経路にある家具を固定したり、災害用トイレの数を補充したりしました。私

く
たちの暮らす大阪府にもいずれは、南海トラフ巨大地震が起きると言われています。「減災」の視点を大切に、日々自分が

かんが
できることを考えていければと思います。今後も、本校の学校安全の取り組みにご理解ご協力をお願いいたします。

かくぶがっきとく 各部の3学期の取り組み

ようちぶ 【幼稚部】

ひなんくんれんぜんご
避難訓練の前線で、地震と津波について学年ごとに学習しています。地震はいつ起こるかわからないことや、どん

おそ
な恐れがあるのか、起こったときは大人の話聞き、避難するときの注意点や、身を守る方法などを共有しました。

がんとん
また、元旦の地震を思い出、「怖かった」「びっくりした」など、そのときの体験や感情についても共有したことで、子

りかい
どもたちにとって理解・関心が深まりました。

しょうがくぶ 【小学部】

ねんせい
4年生は、社会科の学習であべの防災センターに社会見学に行きました。このセンターは体験型施設で、震度7

そうてい
想定揺れを体験できるコーナーもありました。日頃から自分たちにできることとして、必要なものを持ち出し袋にま

かぐ
とめておいたり、家具を固定したりするなど、減災の視点を学びました。

ちゅうがくぶ
【中学部】

じつざい ふうけい しかくじょうほう かさ ひょうじ
実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示させること。

じしんつなみひなんくんれん じぜんがくしゅう もち さいがいたいけんえーあーる おこな すいい か さいがいたいけんえーあーる
地震津波避難訓練の事前学習として、タブレットを用いて災害体験ARを行いました。水位を変えながら、楽

みつ つ ぼうさいいしき けいはつ つと ほか しんぶんし もち さら つく よくしゅう
みつつ防災意識の啓発に努めました。他には、新聞紙を用いた、スリッパ、皿、コップを作りました。その翌週には、

しんぶんし はってんがた だん しんぶんし く あ さくせい さいがいたいけんえーあーる ほん
新聞紙のスリッパの発展型として、段ボールと新聞紙を組み合わせたスリッパを作成しました。こちらは災害時に、本

どう たいいくかん ひなん とき は す しんぶんし こうひょう ほか たく ぼうさい
当に体育館に避難した時に履いて過ごせるもので、新聞紙のみのスリッパよりも好評でした。他にも、2択の防災クイ

ズをしました。交通安全の分野では、中学部2年の授業で、聴覚障がい者が、パトカーの「パトロール」と「緊急走行

じ ちが しかくてき しきべつ ひか かた ちが せきしよくとう どうさい すず がくしゅう
時」の違いを視覚的に識別できるよう光り方の違う赤色灯の搭載を進めていることについて学習しました。



こうとうぶ
【高等部】

ほんか ねんせい せんこうが ねんせい いぞんしょう う じゅぎょう やくぶつ
本科3年生、専攻科2年生は「依存症」についての授業を受けました。アルコールや薬物だけでなく、ギャンブルやゲーム、

スマートフォンなど様々なもので依存症になることを知り、先生を交えたロールプレイングで薬物などに誘われた時の断り

方を練習しました。依存症は誰がなってもおかしくないことであることを知り、正しい知識を身につけ、理解することが大切

と学びました。

せいかついいんかい そつぎょうご しゃかい ひつよう ちから いま じぶん み ちから なに かんが ただ ことば つか
生活委員会では卒業後の社会で必要な力、今の自分たちが身につけるべき力は何かを考え、「正しく言葉を使おう」

をテーマにした劇を生徒朝礼で行いました。お互いに声をかけあい、高めていくことの大切さ、正しい言葉遣いの大切さが

伝わる劇となりました。

きしゆくしゃ
【寄宿舎】

がつき よる じかんだい かさい ぼっせい そうてい しゃせい よこく ひなんくんれん じっし
3学期は、夜の時間帯に火災が発生したという想定で、舎生には予告なしでの避難訓練を実施しました。

こんかい しゃしょくちょうりしつ しゅつか そうてい ひじょう し せきしよくとう てんとう つづ ひじょうほうそう しゅつかばしょ ひなん
今回は舎食調理室から出火した想定で、非常を知らせる赤色灯が点灯、続いて非常放送による出火場所、避難

ほうほう し じ う しょくいん ゆうどう こうとうぶどうろうか ほんらい うてん ひなん しゃせい
方法の指示を受け、職員の誘導で高等部棟廊下（本来はグラウンドですが、雨天のため）へ避難しました。舎生は、

いま けいけん ちしき い ふく くち はな おお ひく しせい じょうず ひなん
今までの経験と知識を活かし、ハンカチや服などで口と鼻を覆い、低い姿勢で上手に避難することができました。ま

よくじつ じちかい しゃせい いっしょ くんれん ふ かえ おこな
た翌日の自治会で、舎生と一緒に訓練の振り返りを行いました。